



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営企画室長(氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,502	2.0	198	198.9	209	160.5	125	171.7
28年3月期第1四半期	6,378	12.8	66	38.9	80	23.8	46	26.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 93百万円(39.9%) 28年3月期第1四半期 67百万円(44.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.02	—
28年3月期第1四半期	4.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	27,114	12,034	44.4
28年3月期	28,486	12,045	42.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 12,034百万円 28年3月期 12,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	0.4	0	—	50	△91.7	32	△91.8	2.80
通期	32,000	4.8	850	△40.2	950	△36.3	608	△35.7	53.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	12,400,000株	28年3月期	12,400,000株
29年3月期1Q	984,306株	28年3月期	942,906株
29年3月期1Q	11,426,044株	28年3月期1Q	11,437,094株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、英国のEU離脱など欧州を始めとする政治リスクや中国の景気後退など海外の影響を受けながらも、各種政策の効果などにより、企業収益は総じて手堅く、設備投資の持ち直しなど、景気は緩やかな回復基調が続いている状況となりました。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は65億2百万円となり、前年同四半期と比べ1億24百万円(2.0%)の増収となりました。

営業利益は比較的利益率の高い商品や工事の売上計上により1億98百万円となり、前年同四半期と比べ1億31百万円(198.9%)の増益となりました。

経常利益は営業利益の増益により2億9百万円となり、前年同四半期と比べ1億28百万円(160.5%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円となり、前年同四半期と比べ79百万円(171.7%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、販売数量に大きな変動はないものの、資源価格の低下などから、関連部門の売上高は23億83百万円となり、前年同四半期と比べ1億64百万円(△6.5%)の減収となりました。セグメント営業利益は、販売価格の低下が影響し37百万円となり、前年同四半期と比べ15百万円(△29.4%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間企業向け主力ポンプ部品販売及び建機商品のシールド掘進機の販売が低調であったことから、関連部門の売上高は11億91百万円となり、前年同四半期と比べ1億67百万円(△12.3%)の減収となりました。セグメント営業利益は1億32百万円となり、前年同四半期と比べ46百万円(△25.8%)の減益となりました。

環境設備関連では、環境商品及び水砕設備などが堅調であったことから、関連部門の売上高は3億87百万円となり、前年同四半期と比べ1億9百万円(39.5%)の増収となりました。セグメント営業利益は60百万円となり、前年同四半期と比べ33百万円(129.5%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、受注工事が予定期日に完工したことなどから、関連部門の売上高は8億83百万円となり、前年同四半期と比べ3億89百万円(78.7%)の増収となりました。セグメント営業利益は90百万円となり、前年同四半期と比べ70百万円(350.2%)の増益となりました。

化成品関連では、自動車、電線向けの商品が安定的に推移したものの、原油価格の低下が売上高に影響したことなどから、関連部門の売上高は16億13百万円となり、前年同四半期と比べ43百万円(△2.6%)の減収となりました。セグメント営業利益は、販売等効率化に努めたことから26百万円となり、前年同四半期と比べ14百万円(124.4%)の増益となりました。

不動産賃貸関連では、賃料等の見直しなどから、関連部門の売上高は74百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(2.2%)の増収となりました。セグメント営業利益は、ラサ・リアルエステート株式会社の設立費用などがなかったため31百万円となり、前年同四半期と比べ31百万円(前年同期は△0百万円)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は271億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億72百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は163億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億32百万円の減少となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金で8億19百万円、現金及び預金で5億53百万円、商品及び製品で4億42百万円の減少等によるものです。

固定資産は107億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億60百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で5億99百万円の増加等によるものです。

(負債)

流動負債は87億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億33百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で8億50百万円、未払法人税等で2億69百万円の減少等によるものです。

固定負債は63億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億28百万円の減少となりました。

これは主に、社債及び長期借入金で2億18百万円(純額)の減少等によるものです。

(純資産)

純資産は120億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の減少となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金で36百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州のみならず世界的に広がりつつある政治的リスクや中国景気の減速から海外情勢の不透明感などが一層強まり、企業マインドや消費者心理の低下を招き、国内景気に影響を及ぼすリスクがあります。このような環境下で、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連、環境設備、化成品関連及びプラント・設備工事関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,059	2,505
受取手形及び売掛金	8,213	7,393
完成工事未収入金	1,073	875
商品及び製品	4,003	3,560
未成工事支出金	1,571	1,719
原材料及び貯蔵品	7	6
繰延税金資産	162	165
その他	170	99
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	18,253	16,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,358	4,363
減価償却累計額	△2,207	△2,238
建物及び構築物（純額）	2,151	2,125
機械装置及び運搬具	321	334
減価償却累計額	△290	△288
機械装置及び運搬具（純額）	31	45
土地	5,470	5,470
その他	1,571	1,573
減価償却累計額	△1,505	△1,512
その他（純額）	66	61
有形固定資産合計	7,718	7,702
無形固定資産		
のれん	25	19
その他	76	66
無形固定資産合計	102	85
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676	2,275
繰延税金資産	28	40
保険積立金	494	485
その他	227	218
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,412	3,006
固定資産合計	10,233	10,794
資産合計	28,486	27,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,877	3,712
工事未払金	321	289
短期借入金	2,930	2,080
1年内返済予定の長期借入金	1,192	1,214
1年内償還予定の社債	534	534
未払法人税等	348	79
賞与引当金	193	123
その他	507	738
流動負債合計	9,904	8,771
固定負債		
社債	169	119
長期借入金	5,444	5,276
繰延税金負債	483	483
退職給付に係る負債	247	238
その他	192	191
固定負債合計	6,537	6,309
負債合計	16,441	15,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,644	1,644
利益剰余金	8,720	8,760
自己株式	△281	△288
株主資本合計	11,937	11,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	69
繰延ヘッジ損益	1	△5
その他の包括利益累計額合計	107	63
純資産合計	12,045	12,034
負債純資産合計	28,486	27,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,378	6,502
売上原価	5,322	5,337
売上総利益	1,055	1,165
販売費及び一般管理費	988	967
営業利益	66	198
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	17
受取家賃	9	9
その他	13	5
営業外収益合計	42	32
営業外費用		
支払利息	13	13
社債利息	2	1
保険解約損	6	0
その他	5	5
営業外費用合計	28	21
経常利益	80	209
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事業整理損失	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	84	208
法人税等	38	82
四半期純利益	46	125
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	46	125

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	46	125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△24
繰延ヘッジ損益	△0	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	20	△32
四半期包括利益	67	93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67	93
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,547	1,358	277	494	1,656	42	6,378
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	30	30
計	2,547	1,358	277	494	1,656	73	6,408
セグメント利益 又は損失(△)	53	179	26	20	11	△0	289

(注) 「プラント・設備工事関連」は、平成26年12月に旭テック株式会社の全株式を取得したことにより、前連結会計年度より、報告セグメントに加えております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	289
全社費用(注)	△223
四半期連結損益計算書の営業利益	66

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,383	1,191	387	883	1,613	43	6,502
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	31
計	2,383	1,191	387	883	1,613	74	6,533
セグメント利益	37	132	60	90	26	31	378

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	378
全社費用(注)	△180
四半期連結損益計算書の営業利益	198

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成29年3月期第1四半期の個別業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,961	△5.3	50	64.2	71	38.0	43	51.7
28年3月期第1四半期	4,183	10.7	30	281.8	51	84.2	28	62.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	3.78	—
28年3月期第1四半期	2.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	17,029	10,640	62.5
28年3月期	18,230	10,705	58.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,640百万円 28年3月期 10,705百万円